



2022年9月16日

各位

会社名 扶桑化学工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 杉田 真一
 (コード番号 4368 東証プライム)
 問合せ先 執行役員管理本部長 伊藤 裕之
 (TEL. 03-3639-6311)

業績予想修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年9月16日開催の取締役会において、2022年5月9日に公表した業績予想を下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|--------|-------|--------|--------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 33,900 | 7,850 | 7,880 | 5,400 | 153.21 |
| 今回修正予想 (B) | 35,500 | 9,700 | 10,650 | 7,400 | 209.96 |
| 増減額 (B-A) | 1,600 | 1,850 | 2,770 | 2,000 | — |
| 増減率 (%) | 4.7 | 23.6 | 35.2 | 37.0 | — |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期) | 25,167 | 6,425 | 6,482 | 4,488 | 126.59 |

(参考) 減価償却前連結営業利益(連結営業利益+減価償却費) (%表示は増減率)
 今回修正予想 11,800百万円(18.4%) 前回発表予想 9,970百万円

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|--------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 66,200 | 15,650 | 15,700 | 10,800 | 306.43 |
| 今回修正予想 (B) | 68,500 | 17,100 | 18,100 | 12,550 | 356.09 |
| 増減額 (B-A) | 2,300 | 1,450 | 2,400 | 1,750 | — |
| 増減率 (%) | 3.5 | 9.3 | 15.3 | 16.2 | — |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 55,760 | 15,034 | 15,509 | 10,890 | 308.08 |

(参考) 減価償却前連結営業利益(連結営業利益+減価償却費) (%表示は増減率)
 今回修正予想 21,750百万円(6.9%) 前回発表予想 20,350百万円

修正の理由

ライフサイエンス事業の上期の進捗状況は、円安による円換算後の売上高増加の影響はあるものの、果実酸類の国内販売が減少しているため、売上高は計画を下回る見込みです。利益面では、継続して取り組んでいる販売価格の改定の効果があり、計画を上回る見込みです。

電子材料および機能性化学品事業の現況は、旺盛な半導体需要により主力製品である超高純度コロイダルシリカの販売が好調に推移しており、売上高は計画を大きく上回る見込みです。利益面でも、売上の増加、増産によるコストダウン効果により、計画を上回る見込みです。

また、営業外損益に円安の進行により為替差益の計上が見込まれますので、経常利益・当期純利益が大きく増加しています。

このような状況を踏まえ、市況・生産能力・在庫状況・為替等、業績に影響を与える条件について改めて精査した結果、下期の状況は、上期に対して厳しい条件が多いものの、2022年5月9日に公表した計画値を売上高、利益面とも上回る見込みとなりましたので、連結業績予想を修正いたします。

以 上